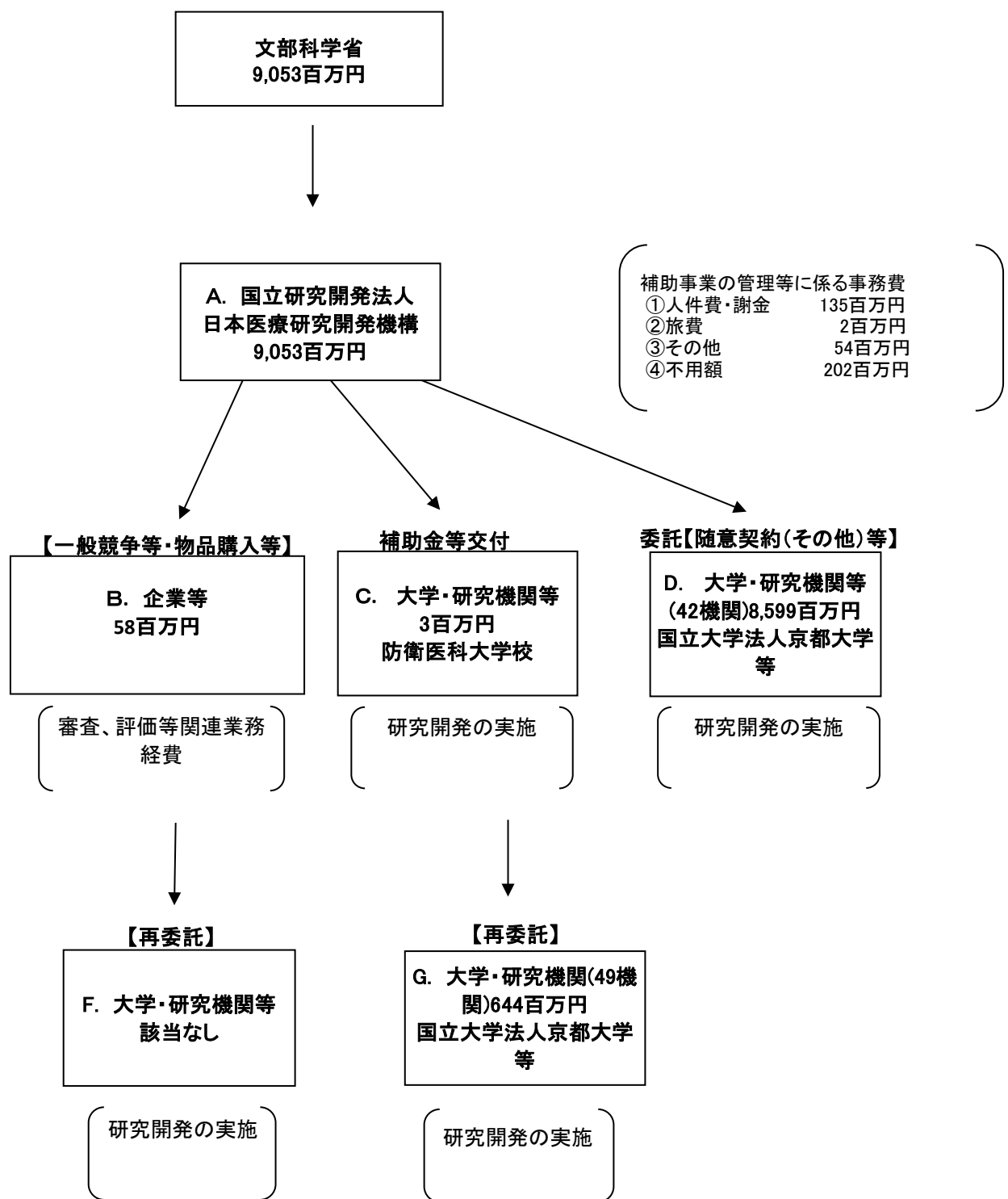


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	平成25年度	事業終了 (予定)年度	令和9年度	担当課室	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 釜井 宏行
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(第1期:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定)、医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)、「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「バイオ戦略(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	平均寿命は年々延びて男女ともに世界最高水準に達しており、1994 年に 14%、2007 年に 21%を超えた高齢化率(65 歳以上人口割合)は、2018 年には 28.1%に達するなどますます高齢化が進展している。総人口が減少する中で高齢化率は今後も上昇が見込まれるとともに、現役世代の減少は加速し、2040 年には現役世代 1.5人で 65 歳以上の者 1 人を支えることになる予想される。加えて、健康寿命も順調に延びており、2016 年には男性 72.14 歳、女性 74.79 歳となっている。健康寿命と平均寿命との差、すなわち疾病などの健康上の理由により日常生活に制限のある不健康期間は、2010 年から 2016 年の間に男女ともに約 0.3 年が短縮されたものの、依然として 10 年近くの期間を占めており、更なる短縮に向けた取組を実施することで、健康長寿社会の形成を目指す。						
現状・課題 (5行程度以内)	「経済財政運営と改革の基本方針2022」では再生・細胞医療・遺伝子治療分野は国益に直結する分野と明示されており、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」でも、次世代iPS細胞やオルガノイド等の革新的な研究開発を進めると共に、実用化に向けて、再生・細胞医療と遺伝子治療の垣根を取り払い一体的な研究開発を推進することが掲げられている。						
事業概要 (5行程度以内)	臨床応用を見据えた安全性・標準化に関する研究や、疾患・組織別に再生医療の実現を目指す研究体制の構築など、iPS細胞等を用いた革新的な再生医療・創薬をいち早く実現するための研究開発を推進。						
事業概要URL	https://www.amed.go.jp/program/list/13/01/013.html						
実施方法	補助						
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する本事業について、当該経費の補助を行うもの【補助率:定額】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	9,066	9,066	9,066	9,155	10,069
		補正予算(B)	-	-	1,725	1,040	
		令和5年度第1次補正予算				1,040	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	124	-	1,738	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 124	-	▲ 1,738	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	8,942	9,190	9,053	11,933	10,069	
	執行額(G)		8,942	9,190	9,053		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		99%	101%	84%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費			重要政策推進枠 1,306百万円		
	(目)	医療研究開発推進事業費補助金	9,155	10,069			
		その他					
	計(A)		9,155	10,069			

活動内容① (アクティビティ)		再生・細胞医療の実用化に向け、細胞培養・分化誘導等に関する基礎研究、疾患・組織別の非臨床研究、疾患特異的 iPS細胞を活用した難病の病態解明・創薬研究及び必要な基盤構築等を行う。また、遺伝子治療について、遺伝子導入技術や遺伝子編集技術に関する研究開発を行う。さらに、これらの分野融合的な研究開発を推進する。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		再生・細胞医療・遺伝子治療の研究開発の推進	支援課題数	活動実績	件	114	110	97		
				当初見込み	件	112	109	96	126	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)うち再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクトの達成目標の1つとして将来的に再生・細胞医療・遺伝子治療の実現に貢献する研究成果の指標として、「研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載件数」が設定されている。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		再生・細胞医療・遺伝子治療の実現に資する研究成果を創出する	研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載件数(累計)	成果実績	件	107	244	450		
				目標値	件				400	
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)において設定されている再生・細胞医療・遺伝子治療に関する達成目標「研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載件数」(2024年度末までに400件)(※)に基づく。 ※達成目標の400件については、3省(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)の合計の目標値であるが、本件については各省連携の下に一貫した支援を行っており、省庁ごとに目標値を按分することができないことから、実績値・目標値とも3省の合計とする。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)うち再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクトの達成目標の1つとして「企業へ導出される段階に至った研究課題数」及び「企業に導出された件数」が設定されており、科学誌に掲載される優れた研究成果の創出が、企業への導出に繋がると考える								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度	
		再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクトにおける成果の企業導出を目指す	企業へ導出される段階に至った研究課題数(累計)	成果実績	件	9	12	38		
				目標値	件				10	
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)において設定されている再生・細胞医療・遺伝子治療に関する達成目標「企業へ導出される段階に至った研究課題数」(2024年度末までに10件)(※)に基づく。 ※達成目標の10件については、3省(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)の合計の目標値であるが、本件については各省連携の下に一貫した支援を行っており、省庁ごとに目標値を按分することができないことから、実績値・目標値とも3省の合計とする。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者につ いて記載する。費目と使 途の双方で実情が分かる ように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	医療分野の研究開発	9,066	その他	再生・細胞医療・遺伝子治療研究開発の国際動 向に関する調査業務	25
	計		9,066	計		25
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品費	試薬、培地等	2	物品費	培地、試薬、実験用器具、ラット、マウス、ブタ等	1,098
	人件費・謝金	研究補助者の人件費	1	人件費・謝金	研究員、研究補助者、派遣に係る人件費	580
				その他	解析費、検査費、標本作成費、学会参加費等	256
				旅費	研究成果発表、研究グループ内ミーティング等	13
				間接経費	間接経費	584
	計		3	計		2,531
	G.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品費	試薬、培地等	40			
	人件費・謝金	研究員、研究補助者に係る人件費	9			
	その他	解析費、標本作成費等	7			
	旅費	研究成果発表等	2			
	間接経費	間接経費	18			
	計		76	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	9010005023796	医療分野の研究開発	9,066	補助金等交付	-	-	-
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社三菱ケミカルリサー チ	5010001022137	調査業務	25	一般競争契約 (総合評価)	2	95.9%	-
2	株式会社コンベンションリン ケージ	8010001092202	会場施設使用料及び付帯設 備費	12	随意契約(その 他)	-	-	-
3	株式会社TCフォーラム	2120001077610	会場施設使用料及び付帯設 備費	3	随意契約(その 他)	-	-	-
4	株式会社エイチ・アイ・エス	6011101002696	会議運営支援業務	3	随意契約(不 落・不調)	1	95.6%	-
5	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	速記	3	一般競争契約 (最低価格)	2	97.3%	-
6	株式会社ステージ	3013301015869	会議運営支援業務	2	随意契約(不 落・不調)	3	83.3%	-
7	特定非営利活動法人医療ネッ トワーク支援センター	2013405000693	会議運営支援業務	2	随意契約(少 額)	-	-	-
8	株式会社藍通	8010401064560	会議運営支援業務	1	一般競争契約 (最低価格)	5	92.5%	-
9	株式会社メディエイター	4290001023331	ノートパソコン端末賃貸借	1	随意契約(少 額)	-	-	-
10	株式会社マックスパート	8010001069555	会場施設使用料及び付帯設 備費	1	随意契約(その 他)	-	-	-
C								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	防衛医科大学校	-	疾患iPS細胞を活用した難治性血液・ 免疫疾患の病態解明と治療法開発	3	補助金等交付	-	-	-

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人 京都大学	3130005005532	再生医療用iPS細胞ストック開発拠点他、全28件	2,531	随意契約(その他)	-	-	
2	公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団	2130005015689	再生医療用iPS細胞ストック開発拠点、全1件	1,430	随意契約(その他)	-	-	
3	国立大学法人大阪大学	4120905002554	iPS細胞を用いた心筋再生治療創成拠点他、全13件	856	随意契約(その他)	-	-	
4	慶應義塾	4010405001654	iPS細胞由来神経前駆細胞を用いた脊髄損傷・脳梗塞の再生医療他、全9件	544	随意契約(その他)	-	-	
5	国立大学法人東京大学	5010005007398	iPS細胞を用いた代謝性臓器の創出技術開発拠点他、全11件	532	随意契約(その他)	-	-	
6	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	NKT細胞再生によるがん免疫治療技術開発拠点他、全5件	338	随意契約(その他)	-	-	
7	国立大学法人東京医科歯科大学	6010005007397	培養腸上皮幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する粘膜再生治療の開発拠点他、全5件	301	随意契約(その他)	-	-	
8	学校法人慈恵大学	9010405001658	段階的胎生臓器補完による網羅的慢性腎不全の抜本的治療法の開発他、全3件	227	随意契約(その他)	-	-	
9	公立大学法人横浜市立大学	5020005005343	iPS細胞を用いた代謝性臓器の創出技術開発拠点 他、全2件	215	随意契約(その他)	-	-	
10	地方独立行政法人大阪府立病院機構	6120005010076	再生医療実現化を加速する次世代型支援基盤とOJT体制の構築、全1件	130	随意契約(その他)	-	-	

G

[illegible]